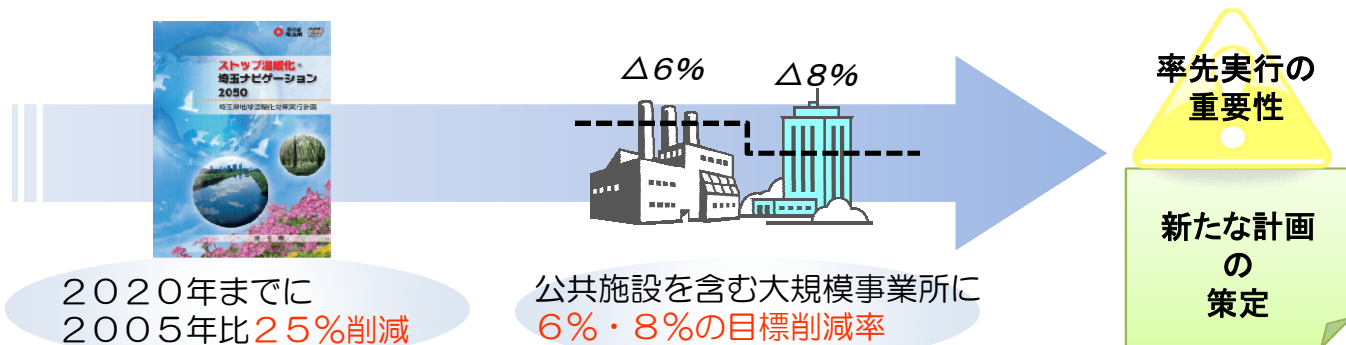


ストップ温暖化・埼玉県庁率先実行プラン<概要版>

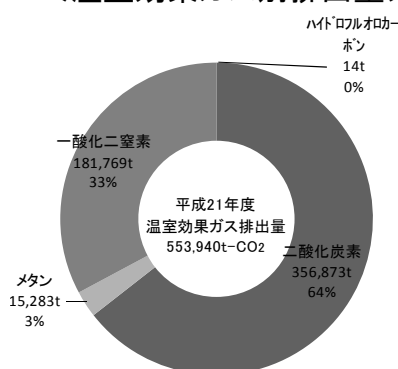
計画策定の趣旨

ストップ温暖化・埼玉ナビゲーション2050(埼玉県地球温暖化対策実行計画(区域施策編))の策定及び「目標設定型排出量取引制度」の開始などを踏まえ、前計画の計画期間満了前に見直しを行い新たに策定。

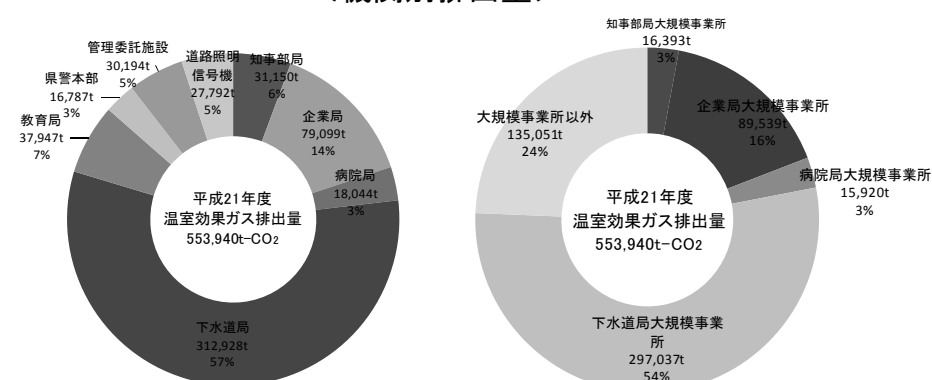


県庁の温室効果ガス排出量の現状(平成21(2009)年度)

<温室効果ガス別排出量>



<機関別排出量>

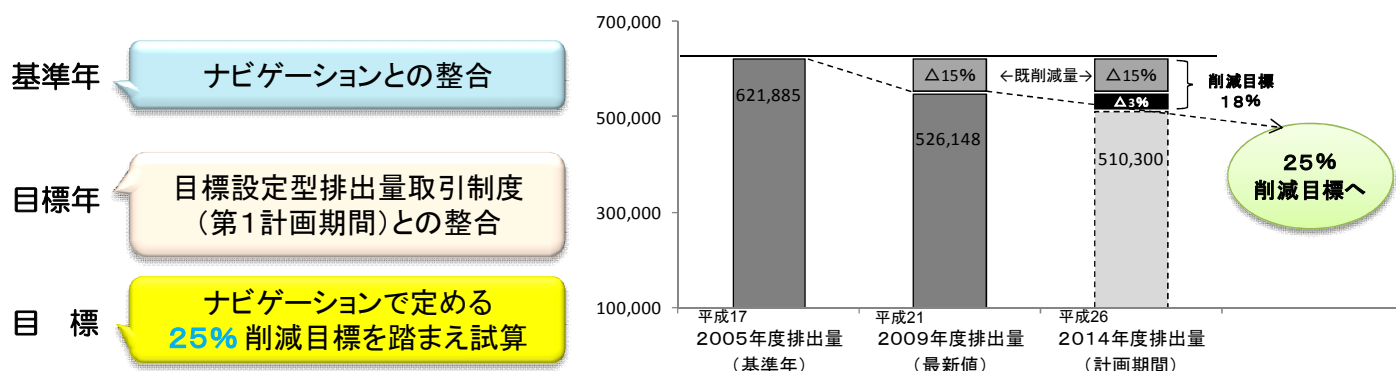


※ 本計画で用いる数値は、本計画から改定した排出係数により再計算しており各部局等において公表している数値とは一致しません。

削減目標

県庁の事務事業に伴い排出される温室効果ガスを、

平成26(2014)年度までに平成17(2005)年度比で18%削減します。



- 基準年 ナビゲーションとの整合
- 目標年 目標設定型排出量取引制度(第1計画期間)との整合
- 目標 ナビゲーションで定める25%削減目標を踏まえ試算

重点取組事項

大規模事業所の「地球温暖化対策計画」等に基づく削減

14,500t-CO₂

目標設定型排出量取引制度に基づく目標削減率の達成に向けた取組を推進します。



ESCO事業、エコオフィス化改修事業

730t-CO₂

省エネルギーに関する包括的なサービスを事業者が提供し、削減した光熱水費からサービス料と利益を生み出すESCO事業等を推進します。



次世代自動車の率先導入等

160t-CO₂

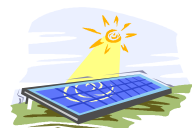
2020年には公用車全体に占める次世代自動車の割合を80%にします。



太陽光発電設備の導入など再生可能エネルギー利用の拡大

400t-CO₂

快晴日数日本一の本県の特徴を活かし、県有施設への太陽光発電設備の設置を推進していきます。



継続したエネルギー削減取組の推進

1,460t-CO₂

執務時間内における取組はもちろんのこと、昼休みや勤務時間外の部分消灯等を徹底していきます。



道路照明、信号機の省エネ化

道路照明・信号機をエネルギー効率の良いものにしていきます。



森林吸収源対策の実施

「彩の国みどりの基金」を活用し、水源地域の森林や放置された里山・平地林を再生するなど、多様で健全な森林の整備を推進しています。



推進体制

埼玉県地球温暖化対策推進条例及びエネルギーの使用の合理化に関する法律に基づき選任する職（地球温暖化対策推進者など）も推進体制に位置付け、県庁を挙げての推進体制を構築します。

また、本計画の推進状況として、温室効果ガスの総排出量、目標の達成状況等については毎年度環境白書やホームページにより公表します。

根拠	職	担当事務	選任者
条例	地球温暖化対策推進者	温暖化対策計画作成	関係部局長を選任・指定
	エネルギー管理統括者	事業全体のエネルギー管理	
法	エネルギー管理企画推進者	統括者の補佐	関係部局ごとに担当者を指定